

発言No. 1

受付No. 12  
令和6年2月15日  
9時50分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 7 番 氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1. 防災対策について

#### (1) 防災情報について

- ① 今年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の際、浜田市でも津波注意報が出された。その際の情報発信の手段と内容について伺う。
- ② 今の時代、緊急時にスマホで避難情報を入手したい市民も多いと思うが、浜田市の避難情報の入手方法について伺う。

#### (2) 災害避難の理解啓発について

- ① 自主防災活動や避難訓練など実施しているが、災害時の行動方法や避難準備など市民への理解が不足していると感じる。今後の計画について伺う。

### 2. 子どもの育ちについて

#### (1) 幼児教育センターについて

- ① 令和5年4月より浜田市幼児教育センターが設置された。約一年が経過したので、今年度の取組み状況について伺う。
- ② 来年度の取組みについて伺う。

#### (2) 浜田市子ども・子育て支援事業計画について

- ① 昨年6月定例会議でも質問をしたが、第3期浜田市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けてどのように進んでいくのか伺う。

以上

発言No. 2

受付No. 7

令和6年2月14日

16時00分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 18番 氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける)  農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1、新たな施設整備方針について

今回、三桜酒造跡地活用についての整備方針として、跡地を活用し「屋外広場」と「多目的ホール」を整備し、石見神楽伝承館と建替える浜田郷土資料館を併設し、三桜酒造跡地、こども美術館に併設、浜田城資料館の隣接地のいずれかに整備するとの方針が示されました。

3施設を同時に提案されたということでもとても大きな事業と感じております。

三桜酒造跡地の活用については、今年度の当初予算で令和6年度から8年度で市が買い取る場合になったときの債務負担行為で2億6千万円の提示がありました。

① 今回の活用検討委員会あくまで買い取った場合の検討で、跡地を買い取るかどうかは未定であると思います。

今後、買い取るかどうかの議論はどのようにされようとしているのか伺います。

② 郷土資料館の建替えについては令和2年度の施政方針で「世界こども美術館に併設」の方針が示され、その後、凍結となってきました。

これまで十分検討されて決めた、世界こども美術館に郷土資料館併設案がなぜ変わ

ったのか伺います。

③ 今回提案された、浜田郷土資料館と石見神楽伝承館の併設案はこれまで跡地活用の検討委員会での協議ではなされてきませんでした。この案は市で決めたとのことですが、どの様な経緯で決められたのか伺います。

④ 今回の提案で石見神楽伝承館については神楽の総合的な施設ではなく、神楽を舞う機能は多目的広場で、神楽の資料などを展示する機能は郷土資料館との併設とし、それぞれ分けて行うものとされました。

元々、舞台と資料の一体型施設、神楽伝承館は非常に難しい案件だと思っていました。検討会の提言でも神楽伝承館は「案のひとつに追加することは差し支えないが、内外から多くの人を訪れ、にぎわいのある空間となるような整備・活用ができるか」とされ、十分な検討の上判断を求めるとされておりました。

なるべく集客を伴う施設にしてほしいとの思いが込められたものと思います。

提案では「舞うのは多目的ホール」で、他のイベントも開催できる複合的に活用する施設であることで集客の可能性が広がり、活用が増え、ある程度検討会の提言に沿うものとも思います。

しかし、神楽関係のみなさんは、「にぎわい機能を付随するのは構わないが、にぎわい創出を目的にその一部に神楽伝承施設機能を包含するのは好ましくない」と、伝統的な神楽を奉納できる神楽に特化した一体的な施設を望んでおられるようです。

この溝をいかに埋めていくのかが今後の大きな課題と思いましたが所見を伺います。

⑤ 市内にはすでに民間で整備された神楽舞の舞台もあります。この施設との連携は今後考えていかれるのか伺います。

## 2、サン・ビレッジ浜田アイススケート場の方向性について

① 今回、サン・ビレッジ浜田アイススケート場について、施設の希少性は高いものの、利用者の見込みの低さや運営経費の高さなどから「屋内人工芝施設または体育館施

設として機能転用を図ることが望ましい」との報告がありました。

想定される3つの活用策案が示され、向こう25年間の事業収支シミュレーションも示され、現状のアイススケート場は高い費用負担の想定となっております。

そこで、屋内案2施設の収入の根拠となっている利用者数や利用料の積算根拠について伺います。

- ② この件について以前も申し上げましたが、市外の利用者が非常に多い希少施設であり「広域で支えることはできないか」との検討をお願いしておりました。

以前の全協で「委託業者と話をする」とのことだったと思いますが、今回の調査検討のなかでは特に触れられておりませんが、どのような協議がなされたのか伺います。

### 3、(仮称) 島根県浜田市風力発電事業に対する住民対応について

- ① 今回、浜田市内で風力発電事業に取り組む業者から環境影響評価準備書の閲覧が行われておりました。

浜田市では、近年、大型の風力発電事業が相次いで計画されていた経緯から当該住民への影響を心配する声に応じて「浜田市風力発電事業に関するガイドライン」を令和3年に策定されてきました。

ガイドラインでは事業者が地域や住民に対し、配慮や調整すべき項目などを定め、設備の適正な管理運営などを促すことを目的とされております。

1年前、業者による進捗説明が行われたある地域では、様々な心配な声が出され、特に環境や騒音、低周波などに対する心配の声が多く出されておりました。

今回の準備書を受けての説明会が昨年11月に行われたようですが、そこでも同様の声が出されたようです。

しかし、業者からの回答はこれまでの調査などから「そういう事にはならないと考える」との説明で、議論は平行線で終わり、住民のみなさんは「仕方がないので、できてから何か問題が起これば対応してもらおう」との対応にされたようです。

このような、できた後の対応について、市のガイドラインやその他の住民対応ができる仕組みがあるのか伺います。

## 一般質問発言通告書

議席番号 22番

氏名 牛尾 昭

答弁を求める者  
(○をつける)

市長

教育長

監査委員  選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 郷土資料館建設予定地について

2月5日の連合審査会や翌日の全員協議会において、市長並びに執行部の跡地利用における熱い思いを聞いた。しかしながら、資料館は、別の施設との複合化をすでに示されており、いくら有識者の検討委員会が石見神楽伝承施設を跡地の候補としても差し支えないと提言されたからといっても、あまりにも唐突であった。以下質問に入る。

- ① 候補地の一つ、浜田城資料館の隣接地は、かつて検討したとおりに津波被害の恐れがあるとのことで、不適となったが、能登地震を見ても明らかであり、候補地にあげた理由を問う。
- ② 次に、世界こども美術館との複合化案は岡田教育長が「一番だと思う」との言葉にもあるように現実的である。実は私は、かつて、その案を一般質問で提案した経緯がある。理由は、人口減少時代に、二つの美術館を維持するのは非常に困難である。かつて、石本先生から石本作品を収蔵する美術館を建ててもらえないかの打診に、当時の市長は、財政面を理由に三隅町の町長に頼み、三隅町に建設された。ところが合併後、結果的に新浜田市には二つの美術館が誕生した。以上の理由により、素晴らしい二つの美術館を維持するために私は複合化案を提案した。このような流れの認識で間違いないか執行部の認識を問う。
- ③ 次に、三つ目の候補地の三桜酒造跡地について、地元紙は「浜田市長、今なら整備できる」との、刺激的な見出しであった。古くは、平成8年の浜田市観光ビジョン策定において、海浜公園に神楽殿建設と位置付けられた。私も参加していて、いよいよだなとワクワクしたのを覚えている。しかしながら、いまだに実現していない。石見神楽発祥の地として、インバウンド対策の目玉として、石見神楽のあらゆる関係者各位の夢、実現のために、この本会議場で市長の思いを問う。

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 3 番

氏名 大 谷 学

答弁を求める者

市長  教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1. 水産振興と事業理解への取組について

##### (1) 高度衛生管理型荷さばき所について

- ① 整備のために関わった国・県・市における負担額および運用開始後の成果について状況を伺う。
- ② 市民への事業理解に向けての広報活動として取り組んでいることは何か、現状を伺う。

#### 2. 歴史文化の継承と文化財の保存整理について

##### (1) 浜田が題材となった大学入試共通テスト地理について

- ① 令和6年1月13日に実施された共通テストの地理第5問題において浜田を題材にした地域調査に関する問題が出題され、新聞紙上でも大きく取り上げていた。このことをどのように受け止めているか、認識を伺う。

##### (2) ふるさと歴史探究プロジェクト「高校生学芸員」の成果について

- ① 令和4年12月に委嘱された浜高・浜商・浜水の高校生12名の研究成果やこのプロジェクトの評価について、認識を伺う。

##### (3) 地域系部活動について

- ① 令和6年度教育方針に「地域系部活動」という活動が明記されたが、このねらいや想定している具体的な活動とは何か伺う。

##### (4) 文化財の現物保存とデジタル化保存について

- ① 現時点における建替を計画する資料館の収蔵庫に収蔵が想定できる文化財数は市が所有する全文化財数の内およそ何点くらいと想定しているか、状況を伺う。
- ② 現物保存の重要性に加え、デジタル化による記録保全も重要と考える。建替を計画している資料館においては、デジタル化を可能にする作業施設を館内に整備する必要があるのではないか、見解を伺う。

### 3. 学校教育の充実について

#### (1) 「理数教育の充実」に向けての成果と課題について

- ① これまでに得られた成果および今後の課題は何か、認識を伺う。
- ② 令和4年9月定例会議の個人一般質問において「理数科への進学者数の動向も評価指標の1つ」との意味の答弁が教育長からあった。その後の進学者数の動向をどのように受け止めているか、認識を伺う。

発言No. 5

受付No. 1

令和6年2月1日

9時40分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 8 番 氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

浜田市でも、医療・財政・インフラなどは喫緊の課題として取り上げられている。この度の能登半島の震災は、私たちの足元でも十分起こりうると痛感し、これらの課題に、行政、議会が協働して取り組まなければなりません。そこで、浜田市の未来、市民生活の今後に向けて道筋を創るものとして、大枠3点の質問を行い第一歩としたい。

#### 1. 今後の医療体制について

##### (1) 浜田医療センターの現状や将来について

- ① 済生会江津総合病院が来る4月より「介護医療院」を新設される。そこで、県西部の拠点病院・浜田医療センターに何を期待するかを問う。
- ② 医療センターの抱えている課題をどのように捉えているか問う。

##### (2) 市内医療機関への支援について

- ① 医療センターへの財政支援等をどのように考えているのかを問う。
- ② 市内他医療機関への財政支援等をどのように考えているのかを問う。

#### 2. 今後の財政について

##### (1) 市の財政状況を示す指数について

- ① 財政力指数が示す財政状況をどのように判断しているのかを問う。

##### (2) 普通財産と財政について

- ① 普通財産の譲渡を財政改善の一助として取り組んでいるのかを問う。

#### 3. 今後のインフラについて

##### (1) 水道施設について

- ① 老朽施設の更新や耐震化の進捗状況を問う。
- ② 被災時の対策を検討しているかを問う。